

# 教育システム情報学会

Japanese Society for Information and Systems in Education

旧CAI学会

## ニュース・レター No.110



発行日 2001年9月24日  
 発行所 教育システム情報学会  
 発行者 舩馬剛美  
 〒107-8302 東京都港区西有明1-20-2  
 工学部大学情報科学センター内  
 〒107-8302 東京都港区西有明1-20-2  
<http://www.jsise.org/>  
 E-mail: secretariat@jsise.org

### 第26回全国大会のご案内 教育システム新世紀～IT革命を超えて～

21世紀初の全国大会が、大阪大学にて開催されます。今回の大会では、明日の教育システムのあり方を展望するとともに、近未来像を描くことに焦点をあて、講演、パネル討論、各種発表セッションを企画しております。多くのご発表、ご参加をお待ちしております。ぜひ、お申し込みください。

- ◆開催日時 2001年8月7日(火)、8日(水)
- ◆場 所 大阪大学 コンベンションセンター  
 〒565-0871 吹田市山田丘1-1
- ◆主 催 教育システム情報学会
- ◆後 援 文部科学省/経済産業省/大阪府教育委員会/吹田市教育委員会/その他(依頼予定)
- ◆協 賛 ALIC(先進学習基盤協議会)/IEC(情報教育学研究会)/その他(依頼予定)
- ◆大会日程

#### 8月7日(火)【第1日】

9:00~	受付<コンベンションセンター・エントランスホール>							
10:00~12:00	企画セッション T1「教育システムのデザイン」 司会 池田清 (大阪大学)	企画セッション T2「バーチャル・ユニバーシティの研究展開」 司会 永岡康三 (メディア教育開発センター)・黒田卓 (南山大学)	企画セッション T3「インターネットの先進的学習支援」 司会 横山勝雄 (東京学芸大学)	A1一般講演	A2一般講演	A3一般講演		企業展示 <エントランスホール>
12:00~13:30	理事会<学内 ローズ2F>			昼食				
13:30~13:50	総会<MCホール>							
14:00~15:00	基調講演 「IT革命は教育の転機を教えるか」 佐伯科先生<青山学院大学><MCホール>							
15:10~17:00	パネル討論会「バーチャルユニバーシティの経営と採算性(課題)」コーディネータ 西之園晴夫 (仏教大学)<MCホール>			B1一般講演	B2一般講演	B3一般講演	ポスターセッション	
17:30~19:30	総会<学内>							

#### 8月8日(水)【第2日】

9:00~	受付<コンベンションセンター・エントランスホール>							
9:20~11:20	企画セッション T4「先進的 Learningの進化と今後の展望-事例紹介と産業化への期待-」 司会 山本海城 (日立電子サービス)	企画セッション T5「メディア利用による経営の学習の展開」 司会 曾井輝雄 (大阪大学)	企画セッション T6「新教材の質と情報教育の目標の展開」 司会 永野和男 (聖心女子大学)	C1一般講演	C2一般講演	E 英語		企業展示 <エントランスホール>
11:30~12:30	特別講演(依頼中)<MCホール>							
12:30~13:30	昼食							
13:30~15:20	パネル討論会「Le Learningの産業化と普及を考える-携帯・コンテンツ・ユーティリティの立場から-」 コーディネータ 仲村隆<MITX><MCホール>			D1一般講演	D2一般講演	D3一般講演	ポスターセッション	
15:30~17:00	E1一般講演	E2一般講演	E3一般講演	E4一般講演	E5一般講演	Hデモセッション		

(※プログラムに関する最新情報につきましては、全国大会ホームページをご覧ください。)

# 今年の夏の全国大会は大阪大学 8月7日, 8日に決定

◆大会参加費	参加費	1,000円 (プログラム込み)
	論文集代	6,000円 (事前申込の場合, 5,000円)
	論文投稿費	1,000円 (別刷50部込み)
	総額会費	6,000円 (事前申込の場合, 5,000円)

◆発表・参加申し込み	発表申込〆切: 2001年5月26日
	発表原稿〆切: 2001年6月23日
	参加申込〆切: 2001年7月14日
	※発表・参加申込は, 申込書に必要事項をご記入の上, 大会事務局まで郵送またはFaxでお願いします。なお, 5月連休明け頃から全国大会ホームページでも申込受付を開始する予定です。

◆大会事務局	〒567-0047 大阪府茨木市美穂ヶ丘8-1 大阪大学産業科学研究所知能アーキテクチャー研究分野内 教育システム情報学会第26回全国大会事務局 TEL 06-6879-8426 FAX 06-6879-8428 E-mail: JSiSE2001@aisanken.osaka-u.ac.jp
--------	---

◆全国大会ホームページ <http://www.aisanken.osaka-u.ac.jp/JSiSE2001/>

◆その他の催し(予定)

若手研究者の集い	8月6日(月) 13:30-16:00 コンベンションセンター
情報教育フォーラム (正主催)	8月6日(月) 13:30-16:00 コンベンションセンター
ウェルカムパーティー (関西支部主催)	8月6日(月) 17:00-19:00 学内 ローゼン

## 新年度の会費をご請求します。 会費の前納にご協力ください。

今回、新年度(2001年4月～2002年3月)の会費請求です。学会の諸活動は会員みなさまからの会費で運営しております。近年、2年、3年とまとめて納入される方もいらっしゃいますが、学会は単年度予算で運営いたします。1年単位の会費納入にご協力くださるよう重ねてお願いいたします。

請求書発行時(約1～2週間前)の行き違いについてはご容赦ください。また、不明な点についてはまことにお手数ですが、事務局へメールでお問い合わせくだされば幸いです。

E-mail: secretariat@jsise.org

## 研究発表・参加申込書

参加形態	<input type="checkbox"/> 発表する <div style="margin-left: 20px;"> <input type="checkbox"/> 一般講演                      <input type="checkbox"/> 英語セッション  <input type="checkbox"/> ポスターセッション/ポモセッション                      ※ 注行、企画セッションへの発表申込はございません。                      ご了承ください。                 </div> <input type="checkbox"/> 発表しない <div style="margin-left: 20px;"> <input type="checkbox"/> 一般参加                      ※ 一般参加の方は、【連絡先】のみご記入ください。                 </div>										
発表タイトル	<div style="border: 1px solid black; height: 30px;"></div>										
要旨 (200字程度)	<div style="border: 1px solid black; height: 80px;"></div>										
キーワード (5つまで)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> </tr> </table>										
発表者名	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">お名前</th> <th style="width: 50%;">所属</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="height: 100px;"></td> <td style="height: 100px;"></td> </tr> </tbody> </table>	お名前	所属								
お名前	所属										
	<p style="font-size: small;">※ 連盟でご発表の場合には、口頭発表者に○をつけてください。注行、発表者のうち1名以上が本学会会員でなければなりません。(当日までにご入会ください。)</p>										
連絡先	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">宛先</td> <td style="width: 70%;"><div style="border: 1px solid black; height: 20px;"></div></td> </tr> <tr> <td>住所</td> <td>〒<div style="border: 1px solid black; width: 80%; height: 20px;"></div></td> </tr> <tr> <td>Tel.</td> <td>(    )    -</td> </tr> <tr> <td>Fax</td> <td>(    )    -</td> </tr> <tr> <td>E-mail</td> <td><div style="border: 1px solid black; width: 80%; height: 20px;"></div></td> </tr> </table>	宛先	<div style="border: 1px solid black; height: 20px;"></div>	住所	〒 <div style="border: 1px solid black; width: 80%; height: 20px;"></div>	Tel.	(    )    -	Fax	(    )    -	E-mail	<div style="border: 1px solid black; width: 80%; height: 20px;"></div>
宛先	<div style="border: 1px solid black; height: 20px;"></div>										
住所	〒 <div style="border: 1px solid black; width: 80%; height: 20px;"></div>										
Tel.	(    )    -										
Fax	(    )    -										
E-mail	<div style="border: 1px solid black; width: 80%; height: 20px;"></div>										

送付先：〒567-0047 大阪府茨木市美穂ヶ丘8-1  
 大阪大学産業科学研究所知能アーキテクチャー研究分野内  
 教育システム情報学会第26回全国大会事務局  
 Fax: 06-6679-8428

※ 発表・参加申込は、申込書に必要事項をご記入の上、大会事務局まで郵送またはFAXで行願いたします。注行、5月連休明け頃から、全国大会ホームページでも申込受付を開始する予定です。

※ 会場までのアクセス情報及び宿泊案内は、次号のニューズレターに掲載致します。大会ホームページでも5月頃より公開していく予定です。

## 学位論文紹介コーナーを新設します

学会誌2001年春号 (Vol.18, No.1) から

教育システム情報学会では、博士論文の紹介コーナーを学会誌に設けます。これは、本学会の分野における研究テーマの新しい流れを会員に知っていただくとともに、一般に流布することが少ない学位論文を紹介し研究者の一助となることを目的とします。みなさまからの申請をお待ちします。

**対 象：**博士論文

**開始号：**2001年春号 (Vol.18, No.1) から毎号掲載。2001年分の学会誌に掲載する対象は2000年4月取得者から2001年3月取得者。

**掲載資格：**本会会員。

**原稿締め切り：**学会誌の発行にあわせて、春号2月末日、夏号5月末日、秋号8月末日、冬号11月末日。

**掲載形式：**

論文タイトル

氏名

博士学位取得先

博士学位種別

博士学位取得年月日

キーワード

概要 (500字程度)

公表論文：学位審査の際の主論文

所属：現在の所属

博士論文入手先

抱負

**申し込み先 (担当編集委員)：**高岡良行

〒566-8686 大阪府摂津市千里丘3-14-40

東光精機株式会社 コンテンツビジネス開発グループ

電話：06-6387-4789 FAX：06-6389-7032

e-mail：ytakaoka@toko-s.co.jp，または事務局 (e-mail:secretariat@jsise.org)

## 教員を公募しています

広島市立大学

**公募人員** 情報科学部情報数理学科認知機構学講座 助手1名

**専門分野** 認知科学，人間工学，生体信号処理，ヒューマン・インターフェース及びその関連分野

**応募締切** 平成13年7月31日 (火)

**問合せ先** 広島市立大学情報科学部認知機構学講座 教授 村田厚生

TEL&FAX 082-830-1616 E-mail:murata@cs.hiroshima-cu.ac.jp

## 学会誌の論文をWebページに掲載する場合

学会誌編集委員会から

本学会では、教育システム情報学会誌において印刷された論文を、著者自身のWebページに掲載することを原則として認めています。ただし、掲載をする前に、本学会（secretariat@jsise.org）に申し出て、許可を得るようにして下さい。なお、掲載にあたっては、次の4つの条件ないし注意事項があります。

- 1) 本誌において印刷された論文と同じ論文を掲載すること。改稿してはならない。
- 2) 論文を掲載したページに、その論文の著者名、論文名、雑誌名、巻号数、頁数、公刊年を記載する。
- 3) 論文を掲載したページに、本学会から掲載の許可を得ていることを明記する。
- 4) テキストデータを使って論文を掲載してもよいが、印刷された論文をスキャニングし、その画像イメージを掲載することが望ましい。

なお、印刷中の論文を掲載することは認めていませんので、ご注意下さい。

教育システム情報学会  
学会誌編集委員会委員長 矢野米雄



2001年1月11日～2001年3月20日

新入会員（敬称略）

JSiSE-A0001765 皆川 武 熊本大学 正会員

JSiSE-A0001766 角田 仁 東京海上システム開発

### ㈱ 正会員

JSiSE-A0001767 中川喜博 ㈱富士通四国IT 準会員

JSiSE-A0001768 太田和志 東大阪高等学校 正会員

JSiSE-A0001769 佐々木豊 新潟大学 正会員

JSiSE-A0001770 阿濱茂樹 兵庫教育大学連合大学  
院 準会員

JSiSE-A0001771 稲垣 忠 関西大学 準会員

JSiSE-A0001772 山本太郎 愛知教育大学 準会員

JSiSE-A0001773 御手洗理英 株式会社アーマツ  
正会員

JSiSE-A0001774 渡辺喜道 山梨大学 正会員

# 第 81 回研究会が終了しました

情報教育研究部会（部会長 / 山本恒）

1. 日 時：2001年3月17日（土）午後1時
2. 開催場所：跡見学園女子大学 埼玉県新座市中野1-9-6
3. 発表時間：発表と質疑で30分
4. 問い合わせ先：摂南大学経営情報学部松永公廣 e-mail：ey4k-mtng@asahi-net.or.jp
5. 発表テーマ：
  - 1) 情報リテラシー教育におけるコンピュータグラフィックの位置付けについての一考察  
築雅之（日本工学院専門学校），竹本宜弘（工学院大学）
  - 2) 文科系大学における，研究教育活動支援のためのコンピュータ利用教育のありかたについて  
築雅之（日本工学院専門学校），竹本宜弘（工学院大学）
  - 3) Web教材作成  
張雪松・福重暁（ハル株式会社）
  - 4) 幼児教育専攻学生・保育者に対する情報教育  
幼稚園・保育所を対象とした実態調査結果を交えて 宮川祐一（仁愛女子短期大学）
  - 5) Web電子問題集を用いたCプログラム演習  
高橋参吉・久保田和男（大阪府立工業高専），松永公廣・橋本はる美・佐野蘭美（摂南大学）
  - 6) E U C 教育の予備調査  
松永公廣・佐野蘭美・橋本はる美（摂南大学）

## ミレニアム・セミナー間もなく開催

3月30日

主催：教育システム情報学会

今回開催する情報教育ミレニアム・セミナーは、文部科学省やCEC，JAPETなどから後援を得て行うものです。このセミナーでは情報教育の現場で実践している先生方，情報教育を支える学習教材やソフトウェア/ハードウェアの研究開発に携わっている研究者の登壇を予定しています。情報教育に関係する方々にその将来について共に考える場となることを願って，多数の方々の参加をお待ちしています。

日 時：2001年3月30日（金） 9：30～17：30

場 所：愛知県芸術文化センター12階 アートスペースA

名古屋市東区東桜一丁目13番2号

052-971-5608 <http://www.aac.pref.aichi.jp>

プログラムは前号で紹介，または上記のURLにアクセスしてください。また，セミナー問い合わせ先は，名古屋市立大学の磯本征雄先生。Tel 052-872-5790E-mail：yisomoto@nsc.nagoya-cu.ac.jp

## 国際会議の案内

ここで紹介されている国際会議は、教育システム情報学会の会員のみなさんからの紹介やインターネット上で流れている CFP 情報をもとに編集されています。会員のみなさんに紹介したい国際会議などがありましたら、下記までご連絡ください。また、実際に国際会議に参加されたレポートなどを送っていただければ今後の国際会議の案内作成の際に大変参考になりますのでそちらのほうもお待ちしております。

本案内はWWW ( <http://www.fu.is.saga-u.ac.jp/hayashi/jsise/conf.htm> ) で見ることもできます。

ICCE/SchoolNet 2001: International Conference on Computers in Education

開催日程：2001年11月12-15日

主催：APC of AACE

開催地：Seoul, Korea

論文応募締切：2000年4月20日

URL: <http://www.icce2001.org/>

e-mail: [icce2001@icce2001.org](mailto:icce2001@icce2001.org)

CSCL2002: Computer Support for Collaborative Learning 2002

開催日程：2002年1月7-11日

開催地：Boulder, Colorado, USA

論文応募締切：2001年6月1日

URL: <http://cscl2002.org/>

e-mail: [gerhard@cs.colorado.edu](mailto:gerhard@cs.colorado.edu)

SITE 2002: annual conference of the Society for Information Technology and Teacher Education

開催日程：2002年3月18-23日

主催：AACE

開催地：Nashville, Tennessee, USA

論文応募締切：(未定)

URL: <http://www.aace.org/conf/default.htm>

e-mail: [conf@aace.org](mailto:conf@aace.org)

以下前号にも掲載

ICCS2001: The Third International Conference on Cognitive Science

開催日程：2001年8月27-31日

開催地：Beijing, China

論文応募締切：2001年3月30日

URL: <http://www.ICCS2001.com>

e-mail: [iccs2001org@etang.com](mailto:iccs2001org@etang.com)

WebNet2001: World Conference on the WWW and Internet

開催日程：2001年10月23-27日

主催：AACE

開催地：Holiday Inn International Drive Resort, Orlando, Florida, USA

論文応募締切：2001年3月15日

URL: <http://www.aace.org/conf/default.htm>

e-mail: [conf@aace.org](mailto:conf@aace.org)

WI2001: The First Asia-Pacific Conference on Web Intelligence

開催日程：2001年10月23-26日

開催地：Maebashi TERRSA, Maebashi City, Japan

論文応募締切：2001年3月20日

URL: <http://kis.maebashi-it.ac.jp/wi01>

e-mail: [zhong@maebashi-it.ac.jp](mailto:zhong@maebashi-it.ac.jp)

IAT2001: The Second Asia-Pacific Conference on Intelligent Agent Technology

開催日程：2001年10月23-26日

開催地：Maebashi TERRSA, Maebashi City, Japan

論文応募締切：2001年3月20日

URL: <http://kis.maebashi-it.ac.jp/iat01>

e-mail: [zhong@maebashi-it.ac.jp](mailto:zhong@maebashi-it.ac.jp)

ICDM2001: The 2001 IEEE International Conference on Data Mining

開催日程：2001年11月29-12月2日

主催：IEEE Computer Society

開催地：Silicon Valley, California, USA

論文応募締切：2001年6月15日

URL: <http://kais.mines.edu/xwu/icdm/icdm-01.html>

e-mail: [xindong@computer.org](mailto:xindong@computer.org)

国際会議案内文責 松原行宏 (香川大学)

E-mail: [matsubar@eng.kagawa-u.ac.jp](mailto:matsubar@eng.kagawa-u.ac.jp)

# 第79回・第80回・第81回研究報告

## 【インターネットとその教育応用研究部会】 【CAI研究部会】 【情報教育研究部会】

ここに掲載してあるのは、概要ですが、これらの論文は、研究報告書にあります。ご希望の方は、事務局までFAX(03-3342-0485)、またはE-mailでお申し込みください。1部1,300円(送料共)です。残部切れの際はご容赦ください。この「研究報告」の年間購読(購読料は送料込みで年間4,000円)をご希望の方は事務局までご連絡ください(年間6回)。この際、ぜひ購読されますようおすすめいたします(教育システム情報学会研究委員会委員長/大下眞二郎)。

### 第79回研究会

- ・開催日:2000年12月2日
- ・場所:東京学芸大学

1. パソコンを利用した今日的課題への試み  
福井実(二松学舎大学), 大久保博樹(駿台法律経済専門学校), 渋井二三男(城西大学)  
高等教育機関に在籍する学生の就職活動において、会社への志望動機などを書かせて人物評価が成される課題作文は、重要でありながら学生の苦手意識が強いこともあり、指導に時間を要してきた。そこで、課題作文の指導の初期において、今日普及が著しいパーソナルコンピュータ上で文章の編集が自由に行えるワープロソフトを利用し、従来の原稿用紙だけを用いた場合よりも、学生の作文への抵抗感を減じながら効果的で効率の良い指導方法の追及と評価を試みる。

2. 高校「情報」教員の意識について  
中村直人(千葉工業大学), 中村勝一  
・程子学(会津大学)  
平成15年度より実施される高等学校教科「情報」については、本年『現職教員等講習会』や『教員資格認定試験』などが行われているところである。そこで本稿では、『現職教員等講習会』の受講者に対して行ったアンケートの結果について報告し、『情報』の教員養成の課題について考察を行う。

3. Web型グループウェアによるグループ学習支援システムの開発  
石出勉・横山節雄・宮寺庸造(東京学芸大学),

安達一寿(十文字学園女子大学)

校内イントラネットを利用したWeb型グループウェア「こあっと」の開発を進めている。学校生活全般におけるネットワーク利用を支援することを目的としている。学習支援機能としてはグループでの協調活動を重視し、個人の学習成果をグループ内やグループ間で共有していく電子ポートフォリオ作成支援機能を中心に環境を整えた。本研究では、子どもたちの活動の過程を評価する道具として電子ポートフォリオを取り上げ、Webベースで利用できる学習の振り返りを支援するシステムを目指した。学習グループ単位での情報の共有と編集・一覧表示機能、学習者による自己評価・相互評価を支援する機能、コミュニケーション機能などを利用できる。また、義務支援機能では文書管理、名簿管理など教師の日常の活動をサポートしている。

4. インターネット学習用Webブラウザの設計と開発

アーシャ アブ サマー・佐々木整  
・竹谷誠(拓殖大学)

インターネットの普及によって、学習者の興味や関心に基づきWWWで検索し学習を行っていく、インターネット学習が活発に行われている。このインターネット学習にはWebブラウザが不可欠であるが、既存のWebブラウザはインターネット学習での利用を前提に作成されたものではないため、インターネット学習の実施においていくつかの問題が生じている。本研究では、インターネット学習を効率よく実施するための支援環境として、インターネット学習用のWebブラウザの設計開発を

行っている。本稿では、インターネット学習における既存の Web ブラウザの問題点を指摘するとともに、現在試作を行っているインターネット学習用 Web ブラウザの概要について報告する。

#### 5. インターネットによる院内学級における学習環境の改善

磯本征雄・宮原一弘・中野宇宙・奥戸雄二  
・藤原奈佳子・河合洋子・小笠原昭彦  
(名古屋市立大学), 竹内義信・水野かおり  
(名古屋市立汐路小学校), 五味弘  
(沖ソフトウェア中部支社)

院内学級は、病弱・虚弱のため病院で療養中の児童を対象にした学級であり、学習環境は通常の小学校とは異なる。そして、学習時間や教授方法にも工夫がなされている。一方、高度な情報技術とその基盤整備によって、小中学校と同様に院内学級においても、学習指導の方法に大きな改善が可能となった。本研究で筆者らは、院内学級の学習指導改善に必要な要件とその方策を明らかにすることを目的に、院内学級学習環境改善の実践的研究を始めた。実験授業は、小学校の健常児学級児童と病院内の院内学級をインターネットで接続して共同学習をするものであり、インターネットによる院内学級の学習環境、授業形態、授業形態、学習教材の改善に必要な事柄を明らかにする。

#### 6. 知識埋め込みテキストの構想について

奥田富蔵・及川義道・佐藤実(東海大学),  
大塚一徳(東海大学福岡短期大学)

そもそも学習とは知的な活動であり、その支援も知的であることが必要である。それに答え得るものは知的 CAI において他にはないと考えられる。技術の適切な利用形態による知的 CAI の新たな展開を求めて摸索中の「知識埋め込みテキスト」の基本方針とその若干の試みについて述べる。

#### 7. インターネット学習場における協調メモリと知識マネージメントに関する研究

香山瑞恵・岡本敏雄(電気通信大学)

本研究の目的は、インターネットにおける同期および非同期での協調学習を支援する遠隔学習支援環境：RAPSODY-EX (Remote and Adaptive Educational Environment: A Dynamic Communica-

tive System for Collaborative Learning) の設計・実装、および RAPSODY-EX により提供される協調学習環境のユーザビリティを実証することである。具体的には、協調学習場面におけるグループ/個人・ポートフォリオの構成、および協調学習における協調的活動のロギング・フォーマットと協調メモリの構造定義に関するモデルを提案する。そして、学習者間の相互作用に着目をしたコミュニケーションデータ格納モデル、およびグループポートフォリオの構成の機能的有効性を確かめる。さらに、インターネットでの協調学習におけるグループポートフォリオを利用した知識マネージメントの手法、およびそれらを具備した協調学習支援機能の実現をめざすものである。本稿では RAPSODY-EX の概略を述べ、学習者に提供される学習環境に関して考察する。

### 第80回研究会

- ・開催日：2000年12月2日
- ・場 所：電気通信大学

#### 1. 画像計測システムの理解支援を行うマイクロワールド

田中一基(徳島大学), 山本直樹・黒瀬能幸  
(近畿大学), 矢野米雄(徳島大学)

対象物の画像を用いる計測技術(画像計測技術)は、産業や科学技術分野で広く利用されている。本論文では、画像計測システムの操作と挙動、機能との関係の理解支援方法を提案する。その特徴は、計測システムの効率的な操作による仮想計測実験を学習者に行わせ、操作に行き詰まった場合は、正常化方向のアドバイス 正常化アドバイス 効率化アドバイスを使い分け、段階的に理解不足を補う点にある。

#### 2. 個人情報保護システムの機能に関する考察

中川善博(高知工科大学)

国際的に Web 教材を始め、参考資料とする社会・科学情報を利用した教育は、Internet の新鮮で膨大なマルチメディア情報利用に対する取り組みにより、世界各国の教育現場を激変させた。IT 後進国においてもこのグローバル情報を活用すべく、Internet への接続を試みる傾向は年々増加す

るとともに、学校の情報公開・発信などによって、学校と社会・地域のつながりが密接に行われ始めた。それら情報社会構造の変化に伴って、児童生徒の個人情報保護の必要性が急務となっている。これに対応するため、各国の個人情報保護法のベースとなり既にグローバルデファクトスタンダードである「個人情報保護に関する8原則（EU指令）」を踏まえた学校の必要設備としての、システム対策を考察する。

### 3. 引用情報を利用した Web 教材共有支援システム

越智洋司・矢野米雄（徳島大学）、  
脳田里子（福井大学）

近年、インターネットの普及により、Web を利用した学習環境に関する研究が盛んになっている。教育現場においても Web 上に教材（以下、Web 教材）を用意し、授業に導入する試みも増えている。また Web コンテンツの多くは、インターネットじょうで公開されているため、それらのコンテンツを利用する学習 / 教育形態もある。WWWにより、学習者は時間や場所を問わず学習を行え、教師は従来の教科書中心の授業から脱却した個性的な教育を行う環境を実現できる。我々は、Web の特徴の1つである分散環境での容易な情報交換に着目し、引用に基づく Web 教材の活用・共有を支援する学習環境を構築する。本稿では、まず教師および学習者の視点から Web 教材の利用形態について考察し、我々の提案する手法の概要と試作システムについて述べる。

### 4. ゲーム型教育システムにおける学習者の知識と行動のズレに関する考察

林敏浩・林田行雄（佐賀大学）

学習に対する動機付けに関してゲームは強力な教育ツールとして認知されており種々のゲームの持つ教育システムが開発されている。教育システムに内在するゲームは intrinsic game と extrinsic game に分類ができ後者はゲームを学習促進やモチベーション維持のための補助デバイスとして設計される。我々は extrinsic game を持つ教育システム開発を通して学習者の種々のゲーム行動を観察した結果、学習者が既知の知識をゲーム行動に適用できるにも関わらずそれを適用しない状況が

発生していることが事例的に確かめた。我々はこのような事例から「extrinsic game を持つゲーム型教育システムでは学習者の知識状態とゲーム行動（学習行動）にはズレが存在しており、学習者の知識状態の推論の障壁になる」と仮定する。本稿では、漢字学習システム「KanjiMaster」を対象とした extrinsic game を持つゲーム型教育システムにおける学習者の知識状態とゲーム行動（学習行動）のズレを事例的に考察する。

### 5. 「情報科」の内容と問題点

黒瀬能幸（近畿大学）

2003年度（平成15年度）から、小・中・高等学校の教育課程が改訂される。とくに、高等学校に新教科「情報科」が新設される。しかも、必修科目であるから、すべての高校生が「情報A」、「情報B」、「情報C」の内、少なくとも1科目を履修することになる。全国の教科書会社では、手探りの状態で教科書作成に着手し、現在白表紙本の仕上げの段階にあると考えられる。また、全国の情報系の学部では、「情報」担当教員養成の課程認定に向けて申請が終了し、後は過程認可を待っている状況である。筆者は、某教科書会社の教科書執筆に関わっているが、我々情報科学を専門にする立場の人間と、高校の現場教員との考え方の違いなどで多くの戸惑いがあるのも事実である。また、近畿大学工学部「情報」担当教員養成の課程認定に関しては、電子情報工学科、機械システム工学科、経営システム工学科、科学環境工学科の4学科が申請を行った。その申請作業で、筆者は各学科担当者と事務部との調整役となり、全体の取りまとめを行った。そして、著者自身は、「情報科教育法」の授業担当者として申請を行った。以上2つ大きな作業を通じて、新設教科「情報」には種々の問題点があることが判明した。ここでは、「情報科」の内容と問題点を提起し、研究会参加者全員で検討を重ね、「情報科」のためのCAI教材にはどのような内容がふさわしいかを考える際の参考にしたいと考える次第である。

### 6. 特許電子図書館応用教材と高等学校情報の親和性に関する考察

木村友久（都城工業高等専門学校）

（当日資料）

## 7. 教科情報の教材ソフトウェアの規格と共有

渡辺成良(電気通信大学)

平成15年から全ての高等学校で教科情報が必修化される。既に学習指導要領が作成され、指導解説書や教科書の編纂の段階に来ている。これまでのところ、知識理解と演習実習を組合わせて教科書項目が構成されるようである。情報の特殊性からこの組合わせは正しい決定であるが、教員の立場からみると、教科情報の教員養成における新たな課題が浮上し、現職教員を対象にした認定講習、大学における課程認定、研修制度の改善などが必要になり、平成15年度からの実施を前にして、困難な問題が山積みしていることが推察できる。本稿はこのような状況の中で、CAIが果たしうる役割は何か、そのために必要となる新しい方法は何かに焦点をあて、特にCAI教材の開発とその共有の立場から、教科情報の概要、CAI教材設計、ソフトウェアの共有について説明する。

.....

### 第81回研究会

- ・開催日：2001年3月17日
- ・場所：跡見学園女子大学

#### 1. 情報リテラシー教育におけるコンピュータグラフィックスの位置付けについての一考察

築雅之(日本工学院専門学校),  
竹本宜弘(工学院大学)

一般向けのPC環境が整備され、また、多くのアプリケーションソフトが安価に提供されることで、一般の人々が手軽にコンピュータグラフィックスに触れることが可能になった。逆に、コンピュータグラフィックスの原論的な部分を理解するための適度な教材が少なく、知識と技法が乖離する傾向にある。このような状況下で、情報リテラシー教育の枠組みの中でのコンピュータリテラシー教育のあり方について考察した。

#### 2. 文科系大学における、研究教育活動支援のためのコンピュータ利用教育のありかたについて

築雅之(日本工学院専門学校),  
竹本宜弘(工学院大学)

これまで筆者らは本学会ならびに、本研究会に

おいて、情報リテラシー教育のありかた全般についての研究発表を行ってきた。今回は、大学での必修化がすすみつつあり、また高等学校での「情報」と重複が多くなりつつあり情報リテラシー教育において、教材や教授法の視点から、文科系大学の教育、研究に寄与する試みについて考察した。

#### 3. Web教材作成

張雪松・福重暁(ハル株式会社)

(当日資料)

#### 4. 幼児教育専攻学生・保育者に対する情報教育

宮川祐一(仁愛女子短期大学)

福井県内の幼稚園や保育所において、パソコンを事務処理機器として利用している園は全体の62.6%、保育に利用する幼稚園は全体の27.2%と増えつつある。しかし、幼児の利用については消極的な園も多いが、保育関係者の意識にも変化がみられてきた。養成機関に対しては、幼児教育(保育)を専攻する学生への情報教育内容の充実と保育者の資質向上のための現職教育が求められてきている。現場や学生を対象としたアンケート結果等を交えて、情報教育に報告する。

#### 5. Web電子問題集を用いたCプログラム演習

高橋参吉・久保田和男(大阪府立工業高専),  
松永公廣・橋本はる美・佐野蘭美(摂南大学)

近年、CGI技術などを用いることによりWebを利用したCAIやコースウェアの開発が目目されてきている。本稿では、電子問題集の自動作成、電子問題集を利用した大学文系学部および高等専門学校でのプログラミング演習の実践について述べる。

#### 6. EUC教育の予備調査

松永公廣・佐野蘭美・橋本はる美(摂南大学)

システム設計のように技術的な側面を含む高度な内容を文科系の大学生に教育するには、教師はその教材や教育方法を工夫することが必要であろうと考えられる。そこで経営情報学部の学生に対するデータ処理や簡単な事務処理システムを設計できる総合的な能力の養成を目標とする「システム設計」の授業において、学習者のアンケートと演習テストの成績から教材開発と教育方法に関する情報を収集した。その結果について述べる。

**2001年秋号掲載  
特集論文募集  
(原稿論文特集)**

まだ間に合います。

締切日は  
2001年4月2日

テーマは、

**知識コミュニケーションの方法論と支援技術  
Methodology and Technology for Knowledge Communication**

対象分野：

主な対象分野は次のとおり。

協調学習 / グループ学習, CSCL, Learning Community, 遠隔教育/学習, 生涯教育, HCI (ヒューマンコンピュータインタラクション), 認知学習過程, 人工知能 / 知識処理, 教授戦略 / 対話戦略, 学習者モデル, 知的 CAI/ITS, 訓練システム, シミュレーション, エージェント, ILE (対話的学習環境), モチベーション, ナビゲーション, マルチメディア / ハイパーメディア, インターネット, WWW, オーサリングシステム, VR (バーチャルリアリティ)

投稿締切：

2001年4月2日

問い合わせ・原稿送付先：

〒567-0047大阪府茨木市美穂ヶ丘8-1

大阪大学産業科学研究所知能アーキテクチャ分野内

教育システム情報学会特集論文担当(柏原・稲葉) Tel: 06-6879-8426 Fax: 06-6879-8428

URL : <http://www.jsise.org/>

(送付先が変更になっています。ご注意ください)

## 事務局の移転

教育システム情報学会は事務局を移転することになりました。約10年間、東京新宿の工学院大学に事務局をおいていましたが、本年4月1日より、尼崎市の園田学園女子大学に移ります。移転にともない、事務局長も交代します。みなさまからの今後のご連絡は、新事務局をお願いいたします。なお、事務局宛のメールアドレスは従来どおりです。

新事務局

〒661-8520 尼崎市南塚口町7-29-1

園田学園女子大学 情報教育センター内

Tel 06-6429-9909 Fax 06-6424-2188

事務局長 山本 恒

e-mail: [secretariat@jsise.org](mailto:secretariat@jsise.org)

<http://www.jsise.org/>